

富山県

No.97 2020年10月



# 中央植物園だより



第22回私の植物写真展 富山県中央植物園長賞作品「花冠」 撮影 / 発田 奈穂里さん

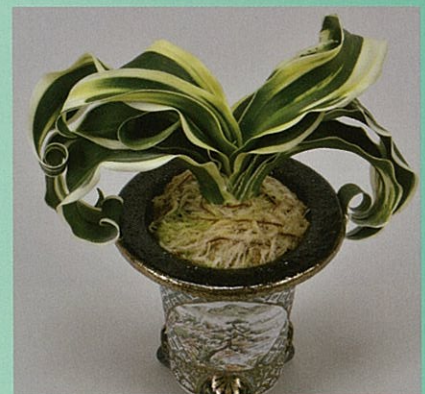
## ノアザミ (キク科)

本州から九州に分布するアザミの仲間で、低地から山地の日当たりのよい草原や道端などに生育します。初夏から夏に茎の先に紅紫色の頭状花をつけます。

## 第53回富山県おもと展のご案内

植物園では、(公社)日本おもと協会富山県支部と共催で、10月23日(金)～25日(日)に富山県おもと展を初めて開催します。

オモトは日本原産のキジカクシ科の多年草で、室町時代から愛好されてきた古典園芸植物のひとつです。葉の縞模様や斑の入り方、形の変化をどうぞお楽しみください。



オモト '玉獅子の虎'

BOTANIC GARDENS OF TOYAMA



# 10月から12月の園内の見頃の植物

## スイフヨウ（ツツジ・シャクナゲ園）

フヨウの八重咲きの園芸品種で、花の色は咲き始めの朝は白く、午後からピンク色に色づき始め、夕方紅色になってしぼみます。この花の色が変化する様子をお酒に酔っ払って顔が赤くなることに例えて「酔芙蓉」の名前が付けられました。八尾のおわらがテーマの「風の盆恋歌」には歌詞にスイフヨウが出てくることから、昔テレビ番組のロケで石川さゆりさんが来園されたことがありました。例年は9月末ごろから10月にかけて咲き、おわらの開催とは花が合わないのですが、今年は異常気象のためか8月下旬より咲き始めました。



スイフヨウ

## 秋に咲くサクラ（サクラ・ウメ園、富山県ゆかりのサクラ）

サクラは春に咲くのが定番ですが、中には秋から春まで開花し、晩秋と早春に2回開花のピークを迎えるものがあり、二季咲き性のサクラと呼ばれます。



ジュウガツザクラ



サクラ'アーコレード'

サクラ・ウメ園のジュウガツザクラは名前の通り10月から咲き始める八重咲きのサクラです。近くにあるサクラ'アーコレード'はイギリス生まれのサクラで、ピンク色の大ぶりの花がきれいです。また富山県ゆかりのサクラエリアにあるコシノフユザクラとコシノフクカサネはいずれも富山県東部で見つかった園芸品種で、花びらが散りにくい特徴があります。秋の青空のもとで秋のお花見はいかがでしょう。



コシノフユザクラ

## 木々の紅葉

11月に入ると富山の低地も木々の紅葉が始まります。園内でも雲南の植物エリアのモミジバフウやイチョウ、クリ・コナラの森やミズナラ・ブナの森できれいな紅葉がみられます。



モミジバフウ

## 海岸の野生ギク（海岸の植物）

海岸の植物エリアはクロマツが多く植えられ、海岸の景観が作られており、その下には海岸の岩場に生育する野生ギクを展示しています。10月初めから咲くハマギクから、奄美大島などに分布するオオシマノジギク、鹿児島県西部に分布するサツマノギク、瀬戸内海に分布するノジギク、黄色い筒状花のみのイソギクと11月半ばごろまで次々と開花します。



オオシマノジギク



イソギク

## パラグアイオニバスの上には…

夏に子どもたちを乗せたパラグアイオニバスの大きな葉の上には、秋になると数を増したカルガモが休憩しています。





# 特別展「お米展～イネと田んぼと人の営み～」開催中！

サンライトホールでは今年度の特別展である「お米展～イネと田んぼと人の営み～」を10月21日まで開催しています。お米を「イネ」という植物の観点から着目し、イネの生育、田んぼの生態そして人の生活との関りについて展示を行っています。

～展示内容～

短編記録映画「富山田んぼ物語」

・富山市婦中町小長沢の田んぼに1年間設置した定点カメラがとらえたイネの成長と農作業の映像を5分間に編集し、上映しています。

・イネの植物学

イネとはどういう植物か、分類や葉、花の形態などをパネルと実物で解説しています。

・稲作を支えた昭和の時代の農機具

田植わく、田打ち車、唐箕（とうみ）などちょっと懐かしい昔の農機具を展示しています。

・お米の利用法—日本酒とます寿し

富山県内で作られる日本酒と、富山名産のます寿しについて紹介しています。

・田んぼに住む生き物たち

田んぼに生育する水草やタニシなどの実物やトンボの標本を展示して、田んぼの生態系を紹介しています。



富山田んぼ物語の一場面



唐箕（とうみ）

## 植物園裏話

### ◎『ドングリにはならない年がある！』

企画情報課 吉田めぐみ

秋のイベントの定番といえばドングリ工作です。植物園では植物園クラブでどんぐり拾いのイベントや、来園した小学校に対してドングリを拾って工作する活動を行っています。昨年は9月下旬から11月上旬まで、10校の小学校の1年生延べ516人が来園しました。1年生の生活科「秋をみつけよう」の単元の授業にあたり、園内を1時間ほど歩いてドングリや紅葉した葉っぱ、マツボックリなどを採集し、ドリアスホールで工作をしています。

植物園には、日本産ではコナラ、ミズナラ、クヌギ、カシワなど13種類、外国産はアメリカアカナラ、オウシュウナラ、スカーレットオークの3種類と、合わせて16種類のドングリの木があります。このうちコナラの植栽本数が多いため、通常どんぐり拾いではコナラ、ミズナラ、クヌギを中心に拾うことが多くなっています。

ところでドングリの結実には豊凶があることが知られており、コナラでは2～3年周期で豊作と不作を繰り返しているようです。昨年、富山県内ではブナ、ミズナラが凶作、コナラが不作となり、ツキノワグマが食べ物を求めて平野部まで出没することが相次ぎました。植物園内の樹木は植栽であるため、野生のドングリ類とは豊凶は同調しません。昨年の場合、ブナやミズナラは並作でしたが、コナラは大凶作で全くドングリがなりませんでした。思い返してみると約10年前にもこのような年があったと記憶しています。そのため、どんぐり拾いの場所に苦労し、いつもは拾わない北米エリアや温室の周りでも拾うこととなりました。さて今年はコナラ、ミズナラともにドングリがなりそうです。植物園クラブでは10月3日と11日にどんぐり拾いのイベントを開催します。どんぐりを拾いたい方はぜひご参加ください。



アメリカアカナラ



カシワ



ミズナラ



昨年のどんぐり拾い



# トピックス 夏のイベント開催報告

毎年夏の人気イベント、「オオオニバスに乗ってみよう」と「森のクラフト」は、今年は新型コロナウイルス感染防止のための対策を講じて開催しました。

「オオオニバスに乗ってみよう」では、入園口での検温、連絡先の記入、会場では参加者と接触する担当はフェイスシールドを着用し、乗った後は葉の上のボードのアルコール消毒を行いました。

「森のクラフト」では会場のテーブルの間隔をあけ、1テーブル1家族、受付時に手指のアルコール消毒をしていただくなどの対策を取りました。

また、5月の緊急事態宣言発令に伴う屋内閉鎖により開催延期となった「私の植物画展」は7月23日～8月31日に、「植物画講習会」は8月29日、30日に開催することができました。



オオオニバスに乗ってみよう



私の植物画展

## 催し物のご案内

### ■企画展示

会場：サンライトホール  
入園料が必要です。

### 特別展

「お米展～イネと田んぼと

人の営み～」

9月11日(金)～10月21日(水)

第53回「富山県おもと展」

10月23日(金)～10月25日(日)

第4回サボテン・多肉植物展

中止

秋季さつき・盆栽展

11月13日(金)～11月15日(日)

第14回秋のラン展

11月21日(土)～11月23日(月・祝)

クリスマスフェア

12月5日(土)～12月6日(日)

花と緑のコンクール入賞作品展

12月11日(金)～12月23日(水)

第8回新春カトレヤ展

1月8日(金)～1月11日(月・祝)

### ■講演会

第28回 TOYAMA 植物フォーラム

「イネとお米と日本酒と」

10月4日(日) 13:30～16:00

会場：管理研修棟研修室

### ■講座・講習会

栽培講習会

「おもとの栽培と管理」

10月24日(土)・25日(日)

両日とも14:00～15:30

会場：サンライトホール(入園料が必要です)

栽培講習会

「ランの栽培と管理」

11月22日(日)・23日(月・祝)

両日とも14:00～15:30

会場：ドリアスホール(入園料が必要です)

植物園でバードウォッチング

12月6日(日)

9:00～11:30

会場：園内(入園料が必要です)

### ■ボタニックガーデンクラブ

多肉植物で楽しい寄せ植えづくり

◎要申込

10月31日(土)・11月1日(日)

両日とも14:00～15:30

会場：ドリアスホール(入園料が必要です)  
参加費：1000円

正月飾りづくり

◎要申込

12月20日(日) 9:30～11:00

会場：ドリアスホール(入園料が必要です)

参加費：500円

### ■月例行事

月例行事には入園料が必要です。

### 植物ガイド

ーボランティアと歩く植物園ー

第1,2,4日曜日 13:30～14:00

集合場所／サンライトホール

ー園長と歩く植物園ー

第3日曜日 13:30～14:00

集合場所／サンライトホール

◎要申込 事前の申込が必要です。  
申込は1ヶ月前から「電話」でお申込ください(先着順)。

※ 新型コロナウイルスの状況によって開催内容を変更する場合があります。

## 富山県中央植物園 入園案内

開園時間 9:00～17:00(入園は16:30まで)  
(11月～1月は9:00～16:30、入園は16:00まで)

休園日 毎週木曜日  
(4月第1、2木曜日とGW、お盆、祝日の場合は開園)  
年末年始(12月28日～1月4日)

入園料 大人(一般および大学生) 500円  
団体料金(20名以上) 400円  
高校生以下ならびに70歳以上通年無料  
冬期入園料(12月～2月)  
大人(一般および大学生) 300円  
団体料金(20名以上) 240円  
高校生以下ならびに70歳以上通年無料  
年間パスポート(購入日より1年間有効) 2,100円

### 交通案内

JR富山駅から、富山地鉄バス「ファボーレ経由萩の島循環」または「ファボーレ経由速星行き(休日のみ)」に乗りし「中央植物園口」停留所下車、徒歩約12分／  
富山市中心部より車で約15分／北陸自動車道富山インターより車で約15分／JR速星駅より車で約8分